

## 物 理 学

教授 豊 富 誠 三  
教務職員 田 村 一 郎

### ◆ 学会報告

- 1) 豊富誠三：教養教育物理実験セミナー「簡単なラジオとその物理」。日本物理学会1997年秋の分科会, 1997, 10, 神戸.
- 2) 田村一郎：メスバウアー効果による $\gamma$ -Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>超微粒子の磁化の温度依存性。日本物理学会1997年秋の分科会, 1997, 10, 神戸.

### ◆ その他

- 1) Tamura I. : Magnetic properties of ultra-fine  $\gamma$ -Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub> particles studied by Mössbauer spectroscopy. 富山医科薬科大学一般教育研究紀要, 第19号: 57-65, 1997.

## 化 学

教授 広 上 俊 一  
教務職員 角 田 広 子

### ◆ 研究概要

広上俊一, 角田広子：光化学に生成したデュワーピリミジノン誘導体の電子状態の研究：気相および凝縮系での2-アゼチジノンの構造と電子状態の研究：計算化学的方法によるオレフィン分子と基底状態酸素原子の反応機構の研究。

### ◆ 原 著

- 1) Hirokami S., Murao A., Kakuda H., Shinoda H., Koga Y. : X-ray crystal structures and ab initio calculations on the photochemically formed Dewar isomers of the 4(3H)-pyrimidinone derivatives. *J. Org. Chem.*, 62: 2711-2719, 1997.

## 医 学 部 生 物 学

教授 尾 崎 宏 基

### ◆ 研究概要

大脳交連線維の発生に関する神経科学的研究

### ◆ 原 著

- 1) Kitano M., Lehner C.E., Taya Y., Ozaki

H.S., Takenaka M., and Kawashima M.: Histopathological study on dysbaric osteonecrosis (DON) in tibiae of sheep with a hyperbaric exposure. *South Pacific Study*, 18:17-31, 1997.

### ◆ 学会発表

- 1) 尾崎宏基, 中島充生, 田畑正志, 安井金也, 植村正憲：マウス脳梁線維の交連順序の解析。第102回解剖学会総会, 1997, 3, 愛知.
- 2) Tabata S., Ozaki H.S., and Mumura M. : Blood vessels and nerve fibers/endings in the dental pulp of the rat : an electron microscopic study. VIth International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation, 1997, 6, Goteborg (Sweden).
- 3) 三浦芳祐, 李鉄軍, 尾崎宏基, 植村正憲, 北野元生：4NQO, レチノール及びEGFのラット初期歯胚に対する影響：コラーゲン・ゲル包埋培養法と腎被膜下移植法を用いた実験系について。第39回歯科基礎医学会総会, 1997, 10, 北九州.
- 4) 田畑正志, 尾崎宏基, 中島充生, 植村正憲：ラット切歯歯髓内の血管関連性神経線維の分布について一走査電顕および免疫電顕を用いた研究一。第39回歯科基礎医学会総会, 1997, 10, 北九州.
- 5) 中島充生, 尾崎宏基, 田畑正志, 田縁昭, 植村正憲：ラット視床味覚中継核 (VPMpc) の扁桃体投射に関して。第39回歯科基礎医学会総会, 1997, 10, 北九州.

## 薬 学 部 生 物 学

教授 菅 野 延 彦

### ◆ 原 著

- 1) Komae N., Narita H., Hibino Y., and Sugano N. : Morphology and origin of micronuclei induced by mitotic inhibitors. *YAKUGAKU ZASSHI*. 117: 49-58, 1997.
- 2) Hibino Y., Tsukada S., and Sugano N. : Purification and characterization of a DNA binding protein in a nuclear scaffold fraction from rat ascites hepatoma cells. *Carcinogenesis*. 18: 101-107, 1997.

### ◆ 学会報告

- 1) 日比野康英, 平岡良隆, 菅野延彦：シスプラチン耐性細胞におけるDNA修復能の活性化。日本

- 生化学会北陸支部第15回例会, 1997, 5, 金沢.
- 2) 中川育也, 鏑木淳平, 菅野延彦, 日比野康英, 大橋康宏: 霊芝(マンネンタケ)菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分の免疫賦活性: マウス免疫細胞のIFN- $\gamma$ とNO産生の増強. 日本薬学会北陸支部第96回例会, 1997, 6, 金沢.
  - 3) Y. Hibino, H. Ohzeki, N. Hirose, and N. Sugano: INVOLVEMENT OF PHOSPHORYLATION IN BINDING OF NUCLEAR SCAFFOLD PROTEINS FROM RAT LIVER TO A HIGHLY REPETITIVE DNA COMPONENT. 17th International Congress of Biochemistry and Molecular Biology, 1997, 8, San Francisco.
  - 4) 大関洋光, 日比野康英, 広瀬紀子, 菅野延彦: 高度反復配列DNAの転写活性化能について. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.
  - 5) 日比野康英, 平岡良隆, 菅野延彦: シスプラチン耐性細胞のDNA修復活性. 第70回日本生化学会大会, 1997, 9, 金沢.
  - 6) 菅野延彦, 鏑木淳平, 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏: 椎茸菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(LAP1)の非特異的・特異的細胞傷害活性の増強. 第56回日本癌学会総会, 1997, 10, 京都.
  - 7) 日比野康英, 広瀬紀子, 大関洋光, 森田泰弘, 菅野延彦: DNA結合活性を示す細胞核 Scaffold蛋白質の諸性質. 日本薬学会北陸支部第97回例会, 1997, 11, 富山.
  - 8) 中川育也, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦: マンネンタケ(霊芝)菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分(MTP2)の免疫賦活性: サイトカインとNOの産生誘導. 第10回日本BRM学会学術集会総会, 1997, 12, 広島.
  - 3) 大橋靖雄, 折笠秀樹: 「メタアナリシスを理解するための統計用語解説」. 協和醗酵工業, 東京, 1997.
  - 4) 折笠秀樹: 心不全治療薬の臨床評価. 「心不全治療」矢崎義雄監修, 627 - 636, メディカルレビュー社, 東京, 1997.

#### ◆ 原 著

- 1) Owa M, Origasa H, Saito M: Predictive validity of the Braunwald classification of unstable angina for angiographic findings, short-term prognoses, and treatment selection. *Angiology*, 48: 663-671, 1997.
- 2) Origasa H: Cumulating the scientific evidences in cardiology with a special reference to Japanese contribution. *Heart and Vessels*, 41 (suppl.12): 142-147, 1997.
- 3) 篠原幸人, 折笠秀樹: メタアナリシスを用いた脳循環代謝改善薬臨床効果の再検討. *脳卒中*, 19 (4): 308-317, 1997.
- 4) 山本祐香理, 折笠秀樹, 佐藤均, 井上博, 林隆一: 降圧薬の処方パターンと合併疾患の関係一院内データを用いた薬剤使用調査. *薬剤疫学*, 2(2): 83-89, 1997.
- 5) 三輪剛, 三好秋馬, 竹本忠良, 松尾裕, 浅木茂, 中村孝司, 森治樹, 岩崎有良, 原澤茂, 中澤三郎, 小林旬三, 勝健一, 早川晃, 佐藤慎吉, 折笠秀樹, 中島光好: Z-103の胃炎に対する臨床評価—スクラルファートを対照薬とした二重盲検比較試験. *薬理と治療*, 25: 1195-1236, 1997.
- 6) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 中川成之輔, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 血液透析時対外循環における低分子ヘパリンKM-311(一般名: レベパリンナトリウム)の抗凝血薬としての臨床的検討—多施設共同第II相臨床試験. *臨床医薬*, 13: 1941-1959, 1997.
- 7) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 中川成之輔, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 出血性病変ないし出血傾向を有する患者の血液透析時対外循環における低分子ヘパリンKM-311(一般名: レベパリンナトリウム)の抗凝血薬としての臨床的検討—多施設共同第II相臨床試験. *臨床医薬*, 13: 1961-1976, 1997.
- 8) 太田和夫, 佐中孜, 平沢由平, 中川雅夫, 秋澤忠男, 折笠秀樹: 慢性腎不全患者の血液透析時対外循環における抗凝血薬KM-311(一般名: レベパリンナトリウム)の臨床評価—未分画ヘパリンを対照薬とした二重盲検交差比較試験. *臨床医薬*,

## 統 計 ・ 情 報 科 学

教 授 折 笠 秀 樹

#### ◆ 著 書

- 1) 大橋靖雄, 折笠秀樹: 「Meta-analysis, 考え方と実際(ビデオ)」. 協和醗酵工業, 東京, 1997.
- 2) 折笠秀樹: EBMによる糖尿病のケア—臨床試験とメタアナリシスの利用. 「Evidence-Based Medicineをめざす糖尿病治療」阿部隆三, 春日雅人編, 216 - 230, 南江堂, 東京, 1997.